

□議員名：会派市民ネット 矢田松夫

1、財政基盤が軟弱ではないか。

論点	徹底的な財政改革をしていくという、危機感や緊張感がみじんにも感じられないのは、いかがなものか。
回答	人口減少や高齢化等の影響により、市税を含めた一般財源は減少することが見込まれており、大変厳しい状況であると認識している。限られた財源を効率的で効果的に活用し、事業への取り組みをしていく。

論点	市長がこれだけはしたいという新規事業はあるのか。
回答	小野田商工センター周辺の官民連携とした再開発事業は全国に例がないので、トップランナーとしてLABVに取り組んでいく。

2、市政の光を探すより曇りが漂う現状を鑑みて市長のリーダーシップを問う。

論点	黒い会計処理、市職員が社長を兼務する実態、条例を遵守しない業者など、不正極まりない実態へ、何故市長自らが改善命令を出さないのか。
回答	市場に関しての開設者の立場としていろいろな指導ができるようになっていくが、改善命令という形では出ていない。

論点	理科大薬学部建設にあたり、座して非難を浴びるより、建設部の立て直しに市長の強力なリーダーシップを求める。
回答	建設部職員の処分については、一生懸命やっていたが、体制の忙しい中で相談ができなかった。一人で抱え込んでしまったのが原因だ。風通しをよくしチェック体制も強化する形で臨んでいきたい。

論点	薬学部建設には、タイトな工期の中での問題があった。その都度、点検せずに挙句の果てに職員の処分ではなく、内部環境の正常化を果たすべきではないか。
回答	体制が不備であった。今後は、体制強化をし職員に負荷がかからないよう、みんなで助け合える体制を作る。

3、市役所に働くすべての職員の労働条件改善について問う。

論点	職員の意識改革や資質向上を求め、常にいいチーム作りに言及されているが、働く職員の職場環境改善が何より最優先すべきではないか。
回答	職員の働きやすい職場をつくる。職員の健康を守り、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指していきたい。

論点	時間外労働について、労基法を遵守すること。
回答	上限の 45 時間を超えた職場の確認をしている。時間外手当を支払わないということはない。100 時間超えれば健康診断をしている。